安全データシート（ＳＤＳ）

1. 製品及び会社情報

製品名称：ＴＩＧ溶接用タングステン電極
YN 05C2S, YN 10C2S, YN 16C2S, YN 20C2S, YN 24C2S, YN 30C2S, YN 32C2S, YN 40C2S, YN 48C2S
YN 05L2S, YN 10L2S, YN 16L2S, YN 20L2S, YN 24L2S, YN 30L2S, YN 32L2S, YN 40L2S, YN 48L2S
会社名：パナソニック溶接システム株式会社
住　　所：〒561−0854　豊中市稲津町3−1−1
担当部門：技術グループ　技術管理チーム
電話番号：06−6866−8541
FAX番号：06−6862−9724
緊急連絡先及び電話番号：同上

2. 危険有害性の要約

危　険　性：粉塵状態では粉塵爆発を起こすことがある。
有　害　性：棒状のままであれば有害性は認められないが，使用方法により切削などで粉塵が発生する場合には，眼に入ると，眼に異物感を与え，刺激することがある。また吸入すると，鼻，のどを刺激することがある。
環境影響：データなし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：成形品

危険有害性成分
”労働安全衛生法第57条の2”の通知対象物質

成分	政令番号	CAS No.	濃度(%)
タングステン及びその水溶性化合物	337	−	≧95

4. 応急措置

応急処置を以下に示すが，必要な応急処置後，必要に応じて速やかに医師の診断を受ける。人工呼吸，心臓マッサージなどの応急処置の教育は，日本赤十字社，消防署などに依頼することを推奨する。

眼にはいった場合：
- 異物が飛び込んだ場合は，絶対にこすらず，水で洗い流す。
- 痛みを感じる場合は，冷やす。

吸引した場合：
- 新鮮な空気を与える。鼻をかませ，うがいをさせる。

やけど：
- 急いで患部を冷やす。
- 衣服が燃えた場合は剥がさずに，そのまま衣服の上から冷水を注いで冷やす。

感電：
- まず電源を切り，被災者を電気回路から引き離す。
- 被災者の意識がないか，反応が鈍い場合は，まず気道の確保を行う。気道を確保した状態で，呼吸がない場合は人工呼吸を行う。さらに脈拍がない場合は心臓マッサージも行う。

酸欠：
・タンク内，ピット底における酸欠災害では，被災者を新鮮な空気のある場所に移動する。
・被災者の意識がないか，反応が鈍い場合は，まず気道の確保を行う。気道を確保した状態で，呼吸がない場合は人工呼吸を行う。さらに脈拍がない場合は心臓マッサージも行う。
熱中症：
・被災者を速やかに涼しい場所に移動する。水分を欲しがれば，与える。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：火災の状況に適した消火剤を使用する。

6. 漏出時の措置

一般的な環境下では，固体であり，漏出しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

感電の防止対策：
・溶接中の電極棒は，通電状態になっているので触れない。
・絶縁性の手袋を使用する。破れていたり濡れている手袋は使用しない。
・溶接作業場内では，絶縁性の安全靴を着用する。
・溶接電極棒の先端，溶接用ケーブルの心線，溶接機の端子などに触れない。
・導電体に触れやすい場所では，濡れた作業衣を着用しない。
・溶接機使用の前には，溶接機の取扱説明書をよく読んで，注意事項を守る。
・適切な容量のケーブルを使用し，保守点検を行って，損傷したケーブルなどは，修理又は交換する。
火災・爆発の防止対策：
・内部に可燃物，引火性液体などの入った容器又はパイプ，並びに密閉された容器又はパイプは，溶接を行わない。
・溶接中及び溶接直後の熱い溶接物には，可燃物，引火性液体などを近づけない。
・天井，床，壁などの溶接では，隠れた側にある可燃物，引火性液体などを取り除く。
・ケーブルの接続部は，確実に締め付けるとともに絶縁する。また，母材側ケーブルは，できるだけ溶接を行う箇所の近くに接続する。
・溶接作業場の近くに，消火器を設置する。
保管上の注意：
・電極棒は，化学反応を起こす恐れのある酸などの化学物質から隔離し，保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：労働安全衛生法　作業環境評価基準　：設定されていない。
許容濃度：日　本　産　業　衛　生　学　会 [a)]　：設定されていない。
ＡＣＧＩＨ [b)]：ＴＷＡ(時間加重平均)　5 mg/m^3（タングステンとして）
STEL(短時間暴露限界) 10 mg/m^3（タングステンとして）
設　備　対　策：切削などで粉塵が発生する場合は局所排気装置を使用する。
保　護　具：切削などで粉塵が発生する場合は保護手袋，保護眼鏡，防塵マスクを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物　理　的　状　態：固　体
形　　状：棒　状
色　　：銀白色
臭　　い：無　臭

10. 安定性及び反応性

引　　火　　点：データなし。
発　　火　　点：データなし。
爆　発　限　界：データなし。
可　　燃　　性：データなし。
発　　火　　性：データなし。
（自然発火性，水との反応性）
酸　　化　　性：500℃以上において酸化する。
自己反応性・爆発性：データなし。

粉　塵　爆　発　性：切削などで粉塵が発生する場合のみ，粉塵状態では粉塵爆発を起こすことがある。
安 定 性 ・ 反 応 性：通常の使用においては安定である

11. 有害性情報

皮　膚　腐　食　性：データなし。
刺激性（皮膚，眼）：溶接ヒュームにより眼及び皮膚を刺激することがある。
感　　作　　性：データなし。
急　　性　　毒：粉塵を吸入すると，鼻　のどを刺激することがある。
亜　急　性　毒　性：データなし。
慢　性　毒　性：データなし。
が　ん　原　性：データなし。
変　異　原　性：データなし。
生　殖　毒　性：データなし。
催　奇　形　性：データなし。

12. 環境影響情報

分　　解　　性：分解しない。
蓄　　積　　性：データなし。
魚　　毒　　性：データなし。

13. 廃棄上の注意

・製品や包装材料などは，産業廃棄物に関する法律，都道府県及び市町村が定める関連条例などに従い，環境に配慮した適切な方法で処分する。

14. 輸送上の注意

・製品の運搬時には，転倒や荷崩れしないように積載する。
・雨天などの際には，防水措置をとる。

15. 適用法令

労働安全衛生法 ：制　　定　昭和47年 6月 8日　法律第57号
　　最新改正　平成23年 6月24日　法律第74号

16. その他の情報

参考文献

a) 日本産業衛生学会：許容濃度等の勧告(2011)
b) American Conference of Governmental Industrial Hygienist：2011 TLVs (Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents) and BEIs (Biological Exposure Indices)

備考

本データシートは，製品の安全性に関する要求事項を記載しています。
本データシートは，製品の安全な取扱いを確保するための“参考情報”として，作成時点で当社の有する情報を取扱事業者に提供するものです。取扱事業者は，この情報に基づいて，自らの責任において，適切な処置を講ずることが必要です。
従って，本データシートは，製品の安全を保証するものではなく，本データシートには記載されていないが，当社が知見を有さない危険性がある可能性があります。

本データシートの最新版は，下記のホームページでご確認ください。
パナソニック溶接システム株式会社　ホームページ　：　http://panasonic.co.jp/pws/